

くらし

なるほど！

# 世界大恐竜展

岡山シテイミュージアム（岡山市北区駅元町）で開催中の特別展「よみがえる地球の覇者！ 世界大恐竜展」（同ミュージアム、RSK山陽放送、山陽新聞社主催、こくみん共済coop岡山特別協賛）。三疊紀から白亜紀まで太古の地球に君臨した代表的な肉食、植物食恐竜の骨格標本や生体模型が勢ぞろいする。最新研究を反映した展示物の見どころを、恐竜博士の石垣忍岡山理科大学教授に解説してもらおう。

私の大学の学生に、「今に向くようになって、両方度岡山で行われる恐竜展にの目で前方のものを注視ライスロナックスの全身が（両眼視という）できる。展示されるぞ」と言ったらだから前に立つとにらめっこしているようでこわい。会場学生たちは目を丸くした。

「えっ、あの新種のティラノサウルス類ですか！」  
数年前、この恐竜発見のニュースは衝撃的だったが、それがなんと岡山に来るといいうのでみんなわくわくしていた。

ライスロナックスの特徴は後頭部が広いこと。その結果、目の入る穴も少し前

2019/7/21 山陽家庭園

## ①「流血の王」ライスロナックス

### 両眼視と覚悟してにらめっこ

両目で獲物を捉えられたティラノサウルス類の新種ライスロナックス



約8000万年前の地層から発見され、早い時代に両眼視の機能を備えたティラノサウルス類がいたことを世に示した。

両眼視は獲物までの距離を測れるので狩りに有効である。ライスロナックスは訳せば「流血の王」！

にらめっこは化石だからできる。生きている状態では絶対に、そう絶対に嫌である。

両眼視は獲物までの距離を測れるので狩りに有効である。ライスロナックスは訳せば「流血の王」！

同展は9月1日まで。7月22、29日、8月5、19日休館。

＝随時掲載